the Lion

2015-2016 VOL.4

掛川城

- 第62回地区年次大会報告
- 地区ガバナー大賞・ガバナー特別賞紹介
- 334複合地区 第62回年次大会報告
- 事務局だより

ザ・ライオンタイムズ
DISTRICT 334-C

第62回地区年次大会

62nd YEARLY CONVENTION

３３４－Ｃ地区第６２回年次大会は，２０１６年5月１５日（日）掛川市生涯学習センターにて開催されました。

地区内より約１，０００人のメンバーが参加し，和やかに交流する風景が各所でみられました。

会場外観：掛川市生涯学習センター

ライオングッズ・
地元特産品販売風景

資生堂アートハウス

代議員会

クラブ代議員による投票は１１時より４０分間実施されました。

その後の代議員会は，ホールにて松本地区ガバナーの議長のもと，提出議案の投票の結果，次期地区ガバナー，第一副地区ガバナー，第二副地区ガバナーの選挙結果，次年度の大会開催地の発表などが行われました。

資格審査委員会

代議員投票箱，投票場所

代議員会会場風景

代議員会会場風景

代議員会会場風景

代議員会会場風景

代議員会会場全体風景

代議員会会場風景

大会式典

午後１時より髙橋キャビネット幹事の司会進行，大会会長の松本地区ガバナーの開会宣言により式典が始まりました。例年通り国旗に礼，国歌・ライオンズヒムの斉唱，来賓，地区役員の紹介，本日の参加クラブの紹介と各リジョンＺＣの先導でのローア，物故Ｌ並びに献腎・献眼者の追悼という順序で式典は進行いたしました。

松本地区ガバナーによる開会宣言

ご来賓　松井掛川市長　鈴木掛川商工会議所会頭

佛井前地区ガバナー　松本地区ガバナー

司会進行のお二人

来賓の掛川市長　ご挨拶

西川年次大会委員長

参加メンバーローア風景

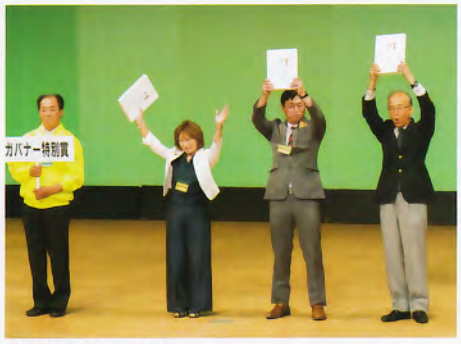
第62回地区年次大会

62nd YEARLY CONVENTION

表彰式

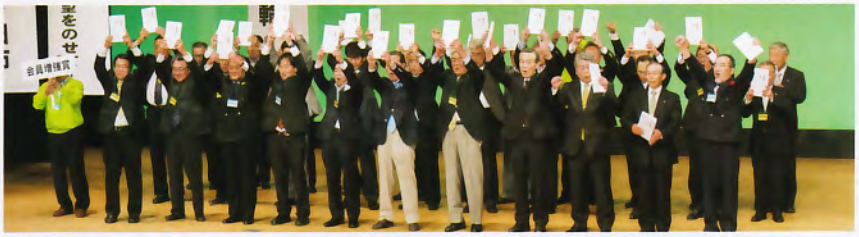
本年度地区アクティビティ・スローガン「感動の輪を築く同志の輪」のもと，クラブを挙げて奉仕活動に取り組み，大きな成果を挙げていただきました。１１６クラブが受賞されました。

地区ガバナー大賞



地区ガバナー特別賞

会員維持賞



会員増強賞

グッドスタンディング賞

ＰＲ賞

青少年健全育成賞

薬物乱用防止推進賞

献眼運動推進賞

献血運動推進賞

環境保全推進賞

ＬＣＩＦ・ＭＪＦ賞

ＬＣＩＦ・クラブ献金賞

同志の輪賞

クラブ会報・ホームページコンテスト

ガバナーエレクト登場 他

表彰式が終了すると会場内は一気に華やかな雰囲気に。ガバナーエレクトご夫妻の登場。ガバナーエレクトの紹介とご挨拶の後，次期キャビネット幹事，会計のお二方の紹介，次年度の地区年次大会開催地の紹介がありました。最後に次期第１副地区ガバナー，第２副地区ガバナーの紹介があり，式典は閉会となりました。

ガバナーエレクトご夫妻登場

現・次期地区ガバナーご夫妻がお揃い

固い握手

坂倉三吉ガバナーエレクトのご挨拶

次期キャビネット幹事・会計の紹介

一年間の慰労の想いを込めて花束贈呈

４Ｒゆるキャラ登場!!

来年は下田で会いましょう

左より橋本次期第2副地区ガバナー，岩崎次期第1副地区ガバナー

今年度地区委員長

第62回地区年次大会

62nd YEARLY CONVENTION

アトラクション

昼の休憩時間と式典の後，アトラクションが行われました。アトラクションⅠは昼の休憩時間に掛川吹奏楽団の吹奏楽演奏，アトラクションⅡは式典の後，長谷川晴彦氏一門にて能「羽衣」が上演され，日本古来の伝統芸能に触れることができました。和の奥深さに感動，一般のお客様にも多く足を運んでいただきました。

吹奏楽演奏　掛川吹奏楽団のみなさん

能舞台「羽衣」

第62回地区年次大会　記念チャリティゴルフ大会

ナイスショット！　フォアー！！　深緑のコースにゴルファーの声が響く…。

第６２回地区年次大会に先立ち，４月１３日（水）菊川市・菊川カントリークラブにおいて，県内のメンバー２１０名が参加して記念チャリティゴルフ大会が盛大に開催されました。当日は雨の心配もありましたが，結果的にはゴルフ日和に恵まれ，本大会の目標である「会員の親睦を図る」を達成することができました。

当日のチャリティ資金は「富士山三保子人形里帰り事業」「静岡県聴覚障害者協会」に寄贈しました。

地区ガバナー年次報告

2015～2016年度　地区ガバナー　松　本　　巌

ライオンズクラブ国際協会３３４－Ｃ地区・２０１５～２０１６年度地区ガバナー年次報告を申し上げます。今年度，山田實紘国際協会会長は“命の尊厳と和を”テーマに掲げられました。そして，そのロゴとして折り鶴を選ばれJapanesque というか Japanese smart を世界に発信されました。特に奉仕の質の向上の為には，会員の増加は奉仕の増加といわれ，私達も不満足な数字ではありますが各クラブの力を結集し，これに当たりました。

今年度はライオンズクラブ創立１００周年の行事と重なり，そのツールをうまく使い，栄えある１００周年を迎えるべく各種セミナー・会議を重ね，ＺＣをはじめ各委員長諸氏に出席をお願いし，快くご協力が得られ今日を迎えることができました。特に今期は上意下達方式の会議はやめ，出席諸氏の活発な討論による会議を望みました。おかげさまでキャビネット会議におきましてもＧＭＴ・ＧＬＴ会議におきましても，特定のテーマながら活発な議論の展開が見られたのは喜ばしい限りであります。今期におきましてはＦＷＴとして１クラブのエクステンションを望みながらでき得ず，各項目ゼロ数値のクラブの絶無を図りましたがこれもなし得ず，皆様に非才と無力さを露呈することになり恥ずかしい限りであります。

少人数クラブが少しずつ見られます。今年は公認ガイディング・ライオンにご活躍いただいております。特に家族会員に関しましては，皆様の解釈の違いがボタンのかけ違いを生んでしまい，それが今日まで引き続き誤解のまま推移してしまいました。この家族会員制度と家族会員プログラム制度の混乱解釈，３年というプログラム制度が，もし２年なり４・５年ならもう少し違った面もあったと思います。３年ゆえに山田国際会長の任期とリンクされ，一つの誤解を生んでいたことも事実です。家族会員制度は実際のところプログラムが成功して現在も引き継がれています。ＯＳＥＡＬ各国で引き続き対応しているところもあります。この成果により，国際理事の選出数は変わり，これから奉仕の質も変わっていくことと思います。国際会費も金額が変わらない限り半分のままですし，地区費に関してはそれぞれの地区が決めることですが，現制度のうちは無料です。皆さんの中には「例会に出ないなんて」という声も聞かれますが，出ないのではなく出てもいいのですから時間があれば出てください。女性も時間が余っている訳ではないでしょうし，若い子供さんたちはもっと時間がタイトではないでしょうか。

我々は必ず“We Serve”といいますが，家族会員制度反対者のWeはご自分達だけのWeです。もう一つのWeは家族です。さらにもう一つのWeは，地域社会のボランティアなどあなたの周りの同好の士なのです。些末なことに目くじらを立てず，寛容の精神で新しいライオンズクラブを作っていこうではありませんか。とは言いつつも，４～６月度ＧＭＴ増員計画では最後まで皆様のご協力いただき，感謝に堪えません。

最後に教育はすべての要（かなめ）であります。新会員セミナー・ライオンズ育成グループセミナー・ガイディング・ライオンセミナーなど，今後も継続いただきたいことはさりながら，セミナーを受けたメンバーは次の日には講師になるということを心してください。

そして，それが新風を吹き込むことであり，進歩につながることと思います。

最後に今年一年本当にありがとうございました。明日からは皆さんと同じ１ライオンとしての奉仕活動と，自分の分度に合わせて活動を行なわせていただきます。

今年度の実績は別紙に総括報告させていただきます。

2015～2016年度地区活動総括報告

2015年7月1日～2016年3月31日

1. アクティビティ集計表

労力奉仕	延時間数	金銭奉仕	総金額
840件	29,263時	1,409件	111,376,544円

2. 会員異動状況

2015年7月初会員数	入会者数	退会者数	増減	2016年3月末会員数	平均出席率
3,777人	203人	175人	+28人	3,805人	82.5%

3. YCE交換実績

区　分	受　入	派　遣	合　計
夏　季	4人	6人	10人
冬　季	3人	0人	3人
春　季	1人	0人	1人
合　計	8人	6人	14人

4. 献眼・献腎・献血実績

献眼者数	献腎者数	献眼登録者数	献血実績		
			200ml	400ml	成分
75人	1人	109,134人	363人	5,148人	849人

5. LCIF献金実績

クラブ拠出金額	MJF拠出金額	LCIF拠出金総額
5,334,265円	24,890,500円	30,224,765円

6. その他特記すべき活動

●2016年2月9日

答礼人形「富士山三保子（ふじやまみほこ）」里帰り展（実現させる会　会長:川勝平太静岡県知事）へ、334－C地区80クラブ合同アクティビティとして、総額216万5859円を寄贈した。

以上

第62回地区年次大会
62nd YEARLY CONVENTION

第62回地区年次大会年次表彰受賞クラブ一覧表（クラブ名順不同）

●**地区ガバナー大賞**（１クラブ）
静岡駿府ＬＣ

●**地区ガバナー特別賞**（３クラブ）
浜松リバティＬＣ／榛南ＬＣ／沼津香陵ＬＣ

●**会員維持賞**（５クラブ）
浜松グリーンＬＣ／小笠ＬＣ／沼津駿河ＬＣ／大仁ＬＣ／天城湯ヶ島ＬＣ

●**会員増強賞**（３３クラブ）
浜松葵ＬＣ／浜松南ＬＣ／浜松グリーンＬＣ／浜松若葉ＬＣ／磐田ＬＣ／湖西ＬＣ／御前崎ＬＣ／小笠ＬＣ／
静岡ＬＣ／静岡葵ＬＣ／静岡橘ＬＣ／清水羽衣ＬＣ／清水みなとＬＣ／藤枝ＬＣ／榛南ＬＣ／藤枝巽ＬＣ／
静岡巽ＬＣ／沼津ＬＣ／沼津香陵ＬＣ／富士岳南ＬＣ／富士中央ＬＣ／小山ＬＣ／富士宮ＬＣ／熱海ＬＣ／伊東ＬＣ／
下田ＬＣ／東伊豆ＬＣ／西伊豆ＬＣ／修善寺ＬＣ／土肥ＬＣ／函南ＬＣ／中伊豆ＬＣ／天城湯ヶ島ＬＣ

●**家族会員増強賞**（０クラブ）
該当なし

●**グッドスタンディング賞**（５クラブ）
清水町ＬＣ／富士宮ＬＣ／富士中央ＬＣ／小山ＬＣ／静岡橘ＬＣ

●**ＰＲ賞**（５クラブ）
富士宮ＬＣ／浜松ホストＬＣ／伊東ＬＣ／小山ＬＣ／静岡ＬＣ

●**青少年健全育成賞**（５クラブ）
浜松ホストＬＣ／清水日本平ＬＣ／沼津千本ＬＣ／河津ＬＣ／土肥ＬＣ

●**薬物乱用防止推進賞**（５クラブ）
浜松ホストＬＣ／浜松リバティＬＣ／森町ＬＣ／小笠ＬＣ／修善寺ＬＣ

●**ＹＣＥ賞**（０クラブ）
該当なし

●**献眼運動推進賞**（６クラブ）
小山ＬＣ／御殿場ＬＣ／裾野ＬＣ／沼津中央ＬＣ／沼津ＬＣ／沼津駿河ＬＣ

●**献血運動推進賞**（５クラブ）
静岡葵ＬＣ／静岡巽ＬＣ／浜松東ＬＣ／静岡リバティＬＣ／静岡ＬＣ

●**環境保全推進賞**（５クラブ）
浜松東ＬＣ／静岡巽ＬＣ／沼津千本ＬＣ／富士マウントＬＣ／天城湯ヶ島ＬＣ

●**ＬＣＩＦ・ＭＪＦ賞**（５クラブ）
掛川ＬＣ／島田ＬＣ／榛南ＬＣ／沼津千本ＬＣ／富士宮中央ＬＣ

●**ＬＣＩＦ・クラブ献金賞**（５クラブ）
浜松リバティＬＣ／浜松ひかりＬＣ／下田ＬＣ／富士中央ＬＣ／三ヶ日ＬＣ

●**同志の輪賞**（２５クラブ）
浜松西ＬＣ／袋井ＬＣ／豊田ＬＣ／磐田シニアＬＣ／浜北ＬＣ／奥浜名湖ＬＣ／菊川ＬＣ／大東ＬＣ／大須賀ＬＣ／
静岡青葉ＬＣ／静岡芙蓉ＬＣ／清水ＬＣ／蒲原ＬＣ／川根ＬＣ／静岡けやきＬＣ／静岡弥生ＬＣ／富士吉原ＬＣ／
富士タカオカＬＣ／長泉ＬＣ／芝川ＬＣ／富士宮芙蓉ＬＣ／三島ＬＣ／伊豆長岡ＬＣ／三島泉ＬＣ／韮山ＬＣ

●**クラブ会報・ホームページコンテスト**（３クラブ）
会報の部；焼津ＬＣ
ホームページの部；御殿場ＬＣ／天城湯ヶ島ＬＣ

※以上，１５賞・１１６クラブ

ガバナー大賞紹介

GOVERNORS AWARD

ガバナー大賞

ありがとう が 風に乗る

静岡駿府ライオンズクラブ

静岡市は深く豊かな歴史，住みやすい気候と美しい自然を持つ地であり，海山の良質な食材も豊富にある。

このような環境の下，静岡市民はおだやかで思慮深くあるが，この良さを外に発信することを苦手としている。

「静岡マラソン」は今年で３回目となり全国より一万人を越えるランナーが集った。静岡市を全国に発信する最高のイベントの一つである。

この応援事業には去年に引き続き２回目の協力となり，コースの２２．８ｋｍ地点第８給水所で給水サービスを任された。一般のボランティア４２名を当クラブで募り，メンバー５４名と共に，給水所設営，ランナーへの給水サービス，応援，跡片付けを行った。

当クラブのメンバーも数人ランナーとして，フルマラソン，１０ｋｍとそれぞれのコースに参加している。おかげで事前にランナーからの視点での給水サービスの役割を聞くことができ，ランナーの気持ちに少し近づけた。

今年度のＰＲ委員長により，スタートからゴールまでの各サービス地点の様子が写真を添えてホームページに報告されている。ランナーとして参加し，取材しながらの完走に敬意を表す。ホームページをご覧願いたい。

今回もクラブメンバー以外の多くの皆様にお手伝いをしていただいた。ここに深く感謝をし，ともに仕事ができ「楽しかった」と伝えたい。

静岡の人々はきっかけがあれば，動くことを厭わないことを今回知った。我々もまたその一端であったが。

参加した全国のランナーが静岡の良い思い出を持ち帰り，再び静岡に訪れることを願っている。

この度，静岡マラソン応援事業に「ガバナー大賞」をいただき，はじめ驚き，やがて喜んだ。

当クラブは労働奉仕時間が比較的多い。あらゆる事業に対して，メンバー隈なく労力を欲しまず動いている。この事業は前期からの継続事業であり，その取り組みも他の事業と同様である。

給水を取るランナーに応援の声をかける。応じるランナー，応じないランナー。それぞれ風のごとく走り去るが，無言であっても「有難う」ということばがこちらに届く。

その「ありがとう」を
そのまま風に乗せ世界中に届けたい。

ガバナー特別賞紹介

GOVERNORS AWARD

ガバナー特別賞

浜松リバティLC CN35周年記念行事を企画して

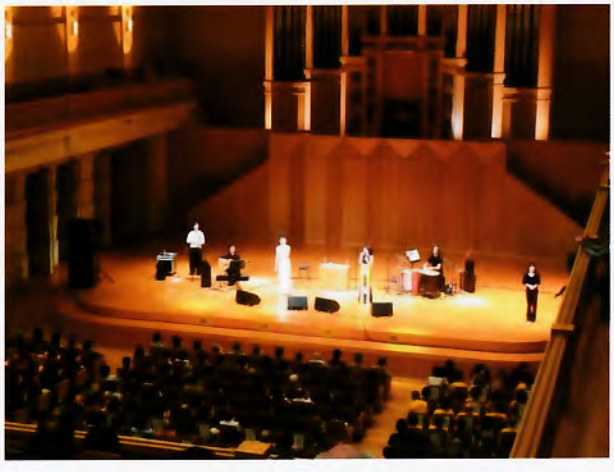
浜松リバティライオンズクラブ

私たちのクラブでは，１５年前，当時当クラブＣＮ２０周年記念行事の一環として，聴覚障害者の忍足亜希子さんが主演する映画「アイラブユー」の無料上映会を開催して以来，聴覚障害に他の障害を併せ持った，ろう・重複障害者の働く作業所「遠州みみの里」を浜松市和合町に開設する運動に協力し，その設立後の支援に，支援組織である「遠州みみの里とあゆむ会」に協力する形で，ともに歩んでまいりました。その活動資金のため，また，ろう・重複障害への理解を深める啓蒙活動のため，個人会員，団体会員の維持・増強を図るとともに，これまでに絵画展や手話落語，音楽祭，ろう者劇団の公演など９回のチャリティイベントを開催し，皆様のご協力を得て大成功でした。

そして今回第１０のチャリティコンサートを企画，当クラブの３５周年記念イベントとして浜松出身のボーカリスト鈴木重子さんと，坂本九さんの娘さん大島花子さんとのコラボで１１月１５日（日）浜松アクトシティ中ホールで開催しました。３月に実行委員会を立ち上げ，クラブメンバーや，みみの里とあゆむ会会員をはじめ，ホームページや会報などを通じ，広く一般市民にも実行委員会参加を呼びかけました。約５０人の方々が呼びかけに応じて集まって下さり，１０回にわたって活発な議論が交わされ，入念に準備がすすめられました。中でも鈴木重子さんのマネージャー中小路さんがいろいろアイデアを出して下さり，当日は会場の皆様が一体となって一緒に手話で交流などもあり，重子さん・花子さんお二人の美しく柔らかな歌声が会場に響き渡り，とても感動的なステージとなりました。チケットも１０３０席で９６０枚とすごい売れ行きだったと思います。これは当クラブメンバーとあゆむ会の皆さんの頑張りとともに，鈴木重子後援会の皆様のご協力，さらにライオンズクラブ３３４－Ｃ地区１Ｒ１Ｚの各ライオンズクラブの皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

こうした様々なご協力を得て，当クラブからは３５周年記念アクティビティとして「遠州みみの里」へ１００万円を寄贈しました。

これからもこうした活動を通じて，真の心のバリアフリー社会実現を目指して共に協力していきたいと念願しております。



ガバナー特別賞

いのちってすばらしい

榛南ライオンズクラブ

私たち榛南ライオンズクラブは，未来を担う小学生と親御様を対象に「いのちを考える」と題して２０１３年度から地域の小学校で講座を開催しております。お話は，地元の助産師さんにご協力頂いて，生命はどこから来てどのように誕生するか，生まれてきたことのすばらしさ，そして自分の命だけでなく周囲の人の命の大切さも教えながら，ライフスキル教育を兼ねた，家族，兄弟，友達とのかかわり，思いやりや，感謝の心を，子供たち，そしてお父さん，お母さんと一緒に考えることができる大変有意義な講座だと感じております。

今年度は，小学校で２回開催し，榛南ライオンズクラブ創立４５周年記念事業として，牧之原市資料館にて「いのちってすばらしい」と題し，親子講座を一般公開しました。今回の講座は榛南地域すべての人たちが参加できる事業となりました。１００名余の多くの親子が参加してくださいました。針の穴ほどの小さな卵が，お母さんのお腹に入りだんだんと大きくなっていく様子や，お腹の中の赤ちゃんが一生懸命大きくなろうと頑張っていることをお話しした後，お腹の中の赤ちゃんの等身大模型を子供たちが抱いたり，手に触れて感じていきました。実際に妊婦さんのお腹に聴診器を当て，赤ちゃんの心音と自分の心音を聴き比べる場面もありました。模擬教材を使っての出産体験では，お母さんと赤ちゃんが呼吸を合わせて誕生する様子に思わず「がんばれ～！」と会場いっぱいの声援が沸き起こりました。命を身近に感じた瞬間だったと思います。

参加してくれたお母さんは，帰ったらすぐにでも子供を抱きしめてあげたい，自分の子供として生まれてきてくれただけで幸せなど，改めて「いのちの大切さ」を学べたと，大変好評でした。多くの心温まる意見を聴かせてもらい，親子の絆と，いのちの深さを感じ，感動させて頂きました。この取り組みが「いのちの大切さ」を伝える青少年健全育成事業という社会貢献だけではなく，家族の絆や地域の絆を深める必要不可欠な事業と実感しました。

今年度の３３４－Ｃ地区第６２回年次大会では，名誉ある地区ガバナー特別賞を受賞させて頂き，非常に光栄です。当クラブ全メンバーが，一年間「奉仕道」に取り組んだ成果が賞という結果として表れたことは，これからの奉仕活動の励みにもなり，４５周年の歴史に，また新たな時を刻めた事を誇りに思います。

今後も，ライオンズクラブのモットー「We Serve」のもとに，地域に根付く奉仕という名の道をメンバーが一丸となり，邁進したいと考えております。

ガバナー特別賞紹介

GOVERNORS AWARD

ガバナー特別賞

ＹＣＥ事業を振り返って

沼津香陵ライオンズクラブ

当クラブは１９７６年3月7日，日本で２００６番目のクラブとして結成され，以来４０年間，アクティビティとしてＹＣＥ生の派遣・受入をＳＡＲＳで中止となった２００３年以外毎年実施し，派遣生は６３名（うちノンライオン４１名），受入生は３１名に上ります。

特にＣＮ１０周年及び２０周年の年度には年間各５名の派遣と各２名の受入を実施するなど，中小規模の単一クラブでこれだけの歴史を築きあげられたのは，数人のキーパーソンの存在はもちろんの事，メンバー個々のこの事業に対する「意識の高さ」とそれを継続しようとしたクラブとしての「団結力」にほかなりません。

それらが今回の受賞の大きな理由となったと考えており，「ＣＮ４０周年」という記念すべき年に「花を添える」ことができたと大変光栄に思っております。

一連の事業は「派遣」では，まず募集から始まり，面接（クラブ・地区），地区オリエンテーション，壮行会（クラブ・地区）と進み，実際の派遣が行われ，帰国後の報告会（クラブ・地区）で終了となります。

一方「受入」は受入家庭（ホームステイ先）の選定が主で，その他キャンプやクラブ事業への出席等の滞在日程の検討はしますが，やはり「日本人ではない」ということから「心身共の健康面」「言葉」「食事」「宗教」「文化」等多方面にわたる対応を考える必要があり，「受入生次第」というのが実情なのかもしれません。

実際，各派遣生・受入生のトラブルは，多岐にわたり，それこそ星の数ほど存在し，その対応は何よりも「神経」と「体力」を要するものです。しかし，報告会や帰国の際，以前に比べ人間が一回りも二回りも大きくなった彼らの姿を目の当たりにすると，そんな労苦は一気に吹き飛び，逆に彼らからエネルギーを充填され，新たなこの事業への「やる気」を起こしてもらっている部分があることも否定できません。

近年こうした青少年の国際交流事業は旺盛を極めており，現況のＹＣＥ事業の派遣生・受入生は共に，海外での留学や就学の経験者が主流になってきております。しかしながらライオンズの行うＹＣＥ事業は「ライオンズ」という世界共通のネットワークを通しての青少年の国際交流事業であり，その規模・多様性は「群を抜いている」ものがあります。

また，その中で行われる「キャンプ」は数十か国の青少年が「一同に会える場」の提供であり，「国際交流の冴えたるもの」といっても過言ではありません。

こういった観点からも「ＹＣＥ事業」は大変意義あるものと考え，当クラブとしては今後も引き続きこの事業を継続していく所存であります。

334複合地区 第62回年次大会報告

REPORT

ライオンズクラブ国際協会334複合地区

第62回年次大会 in静岡

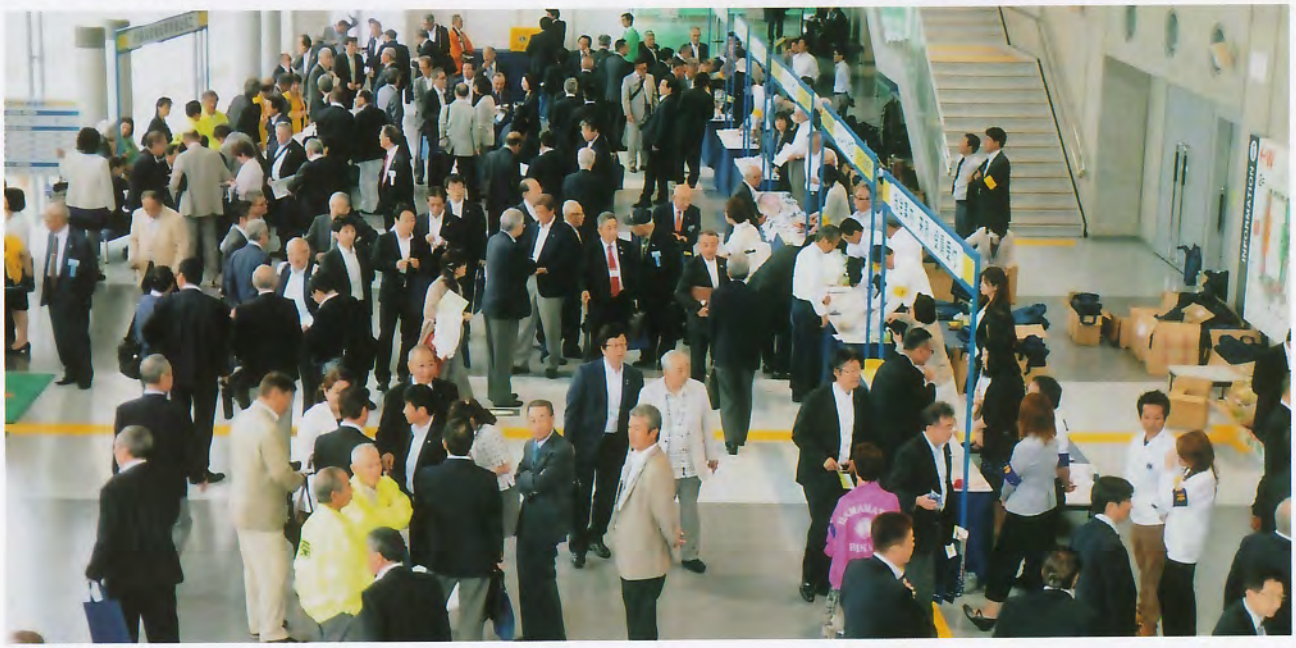
６月５日（日）静岡県小笠山総合運動公園「エコパアリーナ」で３３４複合地区第６２回年次大会が開催されました。

大会会場に隣接するエコパスタジアムは，３年後の２０１９年ラグビーワールドカップの会場にも指定されている静岡県が誇る日本有数の運動公園です。また，会場のアリーナは大きなエンターテイメントやコンサート会場としても賑わっています。

当日，朝は小雨模様でありましたが，時間がたつにつれて晴天に。中部８県５地区から２,４７８名の参加登録，来場者の出足も順調，会場は人・人・人で賑わいました。

代議員会に先立ち資格審査委員会，議事運営委員会，決議委員会，国際理事候補者推薦委員会が開かれ，また，２階ロビーでは登録者の受付と代議員による投票などが行われて１３時１５分代議員会が開催されました。

会場前に設置された歓迎用スチール



登録受付

334複合地区 第62回年次大会報告

REPORT

そして１４時００分，静岡県警察音楽隊のオープニング・ファンファーレ。松本 巌大会会長の開会宣言で式典開幕。その後，岡野良隆大会委員長のお迎えで静岡県知事川勝平太様，掛川市長松井三郎様のご登壇。

大変印象に残る川勝県知事のご祝辞の後，印田 毅ガバナー協議会議長の挨拶と年次報告。

ＬＣＩＦ表彰では，栢森新治ＬＣＩＦ国際理事より名古屋シティライオンズクラブと名古屋ＭＪＦライオンズクラブの２クラブにアワードが伝達されました。

また，式典に山田實紘国際会長，令夫人がご出席の予定でしたが急な中国出張と重なりおいでになれなかったのは残念でありました。

印田ガバナー協議会議長より久野好輝次期協議会議長に議長キーの伝達儀式等があり式典も順調に進みました。

次年度開催は３３４－Ｅ地区がホストとなり長野県松本市で開催と決まり，「来年は松本でお会いしましょう」と挨拶がありました。

４人の大会顧問の発声で声高らかにローア，閉会のゴングが打たれて無事終了，式典の幕を閉じました。

静岡県警察音楽隊ファンファーレ

岡野大会委員長　川勝静岡県知事　松井掛川市長

司会の髙橋キャビネット幹事

現ガバナー協議会構成員

次期各地区５役

事務局だより
INFORMATION

2015~2016年度 第4回キャビネット会議報告

2015~2016年度の最終となる第４回キャビネット会議が４月19日（火）静岡市において開催されました。当日の主要報告・協議事項は次の通りです。

●報告事項

国際会長アワードの伝達について

第62回地区年次大会年次表彰クラブ・ゾーンについて

●協議事項

1. 地区３月末会計報告並びに監査報告
2. 次期地区役員・三役セミナー実施について
3. 第62回地区年次大会議案について
4. 第62回地区年次大会スケジュール・使用会場について

※詳細は，第４回ガバナー諮問委員会でのＺＣからの報告と，第４回キャビネット会議議事要録（地区ホームページ）にてご確認下さい。

次期クラブ三役セミナー開催

2016年５月11日（水）静岡市・グランシップにて次期地区役員・クラブ三役セミナーが開催されました。次年度クラブ役員各位のご活躍を期待申し上げます。

2016年3~5月　物故ライオン

逝去日	物故ライオン名	所属クラブ
2016.3.25	L. 川口博史	静岡芙蓉LC
2016.3.31	L. 西村廣二	藤枝巽LC
2016.4. 4	L. 大村行範	富士タカオカLC
2016.4. 7	L. 曽根原武徳	伊豆長岡LC
2016.4.22	L. 松下邦男	掛川LC
2016.5. 7	L. 長岡登志子	裾野LC
2016.5.17	L. 藤森義和	磐田シニアLC
2016.5.19	L. 池谷喜幸	御殿場LC

編集後記

地区誌一年間の講読有難う御座いました。今期は各リジョンに伝わる歴史文化の発掘紹介をテーマに進めて参りました。四号誌の表紙は一年の纏めとして松本ガバナーの出身地の象徴であります掛川城をとり上げました。尚一緒になってＰＲの有り方を真剣に考え指導下さった大山一誠 Ｌ情報・ＩＴ委員長，楽しい委員会を構成して下さいましたL.石川喜紘・L.八木孝之・L.天野伸春・L.渡邉一誠の皆様，そして地区内８０クラブのＰＲ委員長の皆様ＰＲ活動レポートの提出，お疲れ様でした。お陰様で一年間楽しく，恙なく過ごす事が出来ました。そして何よりも大所高所から的確にアドバイス下さいました髙橋國夫幹事，全て素晴らしい出会いでした。一年間本当に有難うございました。

地区ＰＲ委員長・GMT・ＧＬＴリーダー　L.寺田富美雄

ザ・ライオンタイムズ

2015-2016 VOL.4

発行日／2016年6月30日　発行者／地区ガバナー　松本 巌　編集者　PR委員長　寺田富美雄　発行／ライオンズクラブ国際協会334-C地区（静岡県）　PR・L情報・IT委員会　〒422-8067　静岡県静岡市駿河区南町6-1南町第一ビル3階
TEL（054）286-8922　FAX（054）286-8919　URL http://www.lions334-c.org　E-mail webmaster@lions334-c.org　印刷／株式会社石垣印刷　〒426-0022 静岡県藤枝市稲川6-39　TEL（054）641-0245

掛川城

※ザ・ライオンタイムズは自然保護のため、再生紙を利用しております。